

平成27年5月1日現在

介護職員初任者研修シラバス

研修事業者名 株式会社 セラフィム

科目及び研修時間数	7 認知症の理解(6時間)		
特徴	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を学ぶ。		
目標	・認知症の利用者の心理・行動の実際を示す等により、認知症の利用者の心理・行動を実感できるよう工夫し、介護において認知症を理解することができる。 ・複数の具体的なケースを示し、認知症の利用者の介護における原則について理解することができる。		
項目	時間	内 容	
		講 義	演 習
(1) 認知症を取り巻く状況	1	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアの理念(パーソンセンタードケア、認知症ケアの視点(てきることに着目する)) 	/
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理(認知症の定義、もの忘れとの違い、せん妄の症状、健康管理(脱水・便秘・低栄養・低運動の防止、口腔ケア)、治療、薬物療法、認知症に使用される薬) 	
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人の生活障がい、心理・行動の特徴(認知症の中核症状、認知症の行動・心理症状(BPSD)、不適切なケア、生活環境で改善) 認知症の利用者への対応(本人の気持ちを推察する、プライドを傷つけない、相手の世界に合わせる、失敗しないような状況をつくる、すべての援助行為がコミュニケーションであると考え、身体を通じたコミュニケーション、相手の様子・表情・視線・姿勢などから気持ちを洞察する、認知症の進行に合わせたケア) 	
(4) 家族への支援	1	<ul style="list-style-type: none"> 家族への支援(認知症の受容過程での援助、介護負担の軽減(レスパイトケア)) 	
合計	6		

使用テキスト	介護職員初任者研修テキスト 第3分冊 「老化・認知症・障害の理解」
使用する機器・備品等	
備考	